

日本産業衛生学会 産業衛生技術部会幹事会・総会 資料および議事録

平成22年度第1回産業衛生技術部会幹事会

平成22年5月26日（水）17:00～18:00 福井県国際交流会館 2F 第1会議室(第11会場)

平成22年度産業衛生技術部会総会

平成22年5月28日（金）17:00～17:30 福井県国際交流会館 2F 第1会議室(第11会場)

日本産業衛生学会産業衛生技術部会奨励賞<中明賞>授与（総会冒頭）

- (1) 對木 博一（株式会社ニコビジネスサービス）
- (2) 落合 孝則（東京工業大学）

日本産業衛生学会産業衛生技術部会 平成21年度活動報告

以下の通り、承認された。

1. 総会の開催

平成21年5月22日（金）15:30～16:00 福岡国際会議場 2階多目的ホール203

2. 幹事会の開催

平成21年5月21日（木）12:00～13:00 福岡国際会議場 4階会議室401

3. 産業衛生技術フォーラムの開催

日時：平成21年5月22日（金）13:30～15:30

会場：福岡国際会議場 2階多目的ホール203

テーマ：「労働者の高齢化と安全衛生管理

どのように対応すべきか 産業衛生技術者の役割」

- 1) 「産業医の立場から」土肥誠太郎・三井化学
- 2) 「研究者の立場から」北島洋樹・労働科学研究所
- 3) 「衛生管理者の立場から」成清雄一・TOTO

司会：加藤 隆康（グッドライフデザイン）

保利 一（産業医科大学）

4. 第18回産業衛生技術部会大会の開催

日時：平成21年12月12日（土）13:00～16:00

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス57号館202号室

テーマ：「メンタルヘルスのリスクコミュニケーション」

座長：田中勇武（産業医科大学）

中明賢二（麻布大学）

- 1) 「新しい職場復帰の考え方」森崎美奈子・帝京平成大学大学院
- 2) 「新しいうつ病-長期休業者の事例-」森口修三・三菱電機
- 3) 「どうする企業のリスクマネジメント-自殺の危機介入を中心に-」松井知子・杏林大学

5. 産業衛生技術専門研修会の開催

1) 第8回産業衛生技術専門研修会

日時：平成21年5月21日（木）16:00～17:30

会場：福岡国際会議場 5階会議室502-503

「職業性熱中症予防対策と産業衛生技術」澤田晋一・安衛研

「日本産業衛生学会の全身振動に関する許容基準の改定をめぐって」西山勝夫・滋賀医科大学

2) 第9回産業衛生技術専門研修会

日時：平成21年12月12日（土）10:30～12:00

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス57号館202号室

「新しいタイプのうつ - 対応に困る最近の傾向 -」廣川進・大正大学

6. 労働衛生工学基礎講座の開催

「石綿をめぐる最近の動向について」

日時：平成20年5月8日（木）13:00～17:00

会場：東京トラック事業健保会館

1) 「建築分野における石綿問題と今後の課題について」

本橋健司（建設研究所建築生産研究グループ）

2) 「解体現場における解体の現状と石綿対策について」

出野政雄（全国解体工事業団体連合会）

3) 「改訂石綿JISと石綿分析の国際的な動向について」 富田雅行（日本石綿協会）

7. 各委員会の活動

1) 企画委員会（委員長：村田克(労働科学研究所)）

第1回 平成21年4月11日（土）14:00-16:00 早稲田大学環境資源工学科会議室

第2回 平成21年8月1日（土）13:00-15:00 早稲田大学環境資源工学科会議室

第3回 平成20年12月12日（土）15:00-17:00 早稲田大学環境資源工学科会議室

2) 教育研修委員会（委員長：今井常彦(東邦大)）

産業衛生技術専門研修会（第8回、第9回）を企画・開催した。

3) 広報委員会（委員長：落合孝則(東工大)）

部会ホームページ及びメーリングリストの管理を行った。

4) 企業安全衛生グループとの交流委員会（委員長：野原誠一郎(日本化学繊維協会)）

全国衛生管理者協議会等で広報活動を実施した。

5) 表彰委員会（委員長：名古屋俊士(早大)）

今年度の産業衛生技術部会奨励賞候補2名の選定作業を行った。

6) 4部会コラボレーティング委員会（委員長：落合孝則(東工大)）

第19回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会（平成21年11月5日～8日、タニタ秋田、秋田キャッスルホテル、秋田県総合保健センター）において、他部会と共同で「4部会合同（職場改善）セミナー」および、5年間の4部会合同企画リレーワークショップのまとめとして「メインシンポジウム-働く人の健康を生み出す職場づくり」を開催した。またこれまでの合同（職場改善）セミナーをまとめたCDを、4部会合同企画として制作した。

8. 各地方会の活動

- 1) 北海道地方会（担当幹事：武田秀勝・札幌医科大）
 - 産業医・産業看護・産業技術部会合同研修会（平成21年3月）、健康づくり教室（転倒予防）実技指導（平成22年2月）を開催した。
- 2) 東北地方会（担当幹事：板井一好・岩手医科大）
 - ・東北地区 部会講演会：平成21年7月25日（第68回東北地方会(秋田市)）
講師：関向和明氏（岩手県予防医学協会）、参加人数：15名
- 3) 関東地方会（担当幹事：田中茂・十文字学園女子大）
 - ・第20回関東産業衛生技術部会研修会
開催日：平成21年7月14日（火）、場所：慶應義塾大学医学部新教育研究棟2階講堂1
参加者数：50名
テーマ「熱中症を学ぶ」
座長：今井常彦（東邦大）
「職業性熱中症の発生状況と予防対策の動向：熱中症ガイドラインについて」澤田晋一（安衛研 国際情報・研究振興センター）
「作業現場における対応について」加部 勇（古河電工）
「WBGT測定とスポーツドリンクについて」田中克治（京都電子工業東京支店営業企画部）、杉原克徳（大塚製薬ニュートラシュティカルズ事業部）
「DVD 誰もが危険 熱中症の新常識」佐々木 徹（安全健康企画）
 - ・第21回関東産業衛生技術部会研修会
開催日：平成21年11月14日（土）、場所：慶應義塾大学三田キャンパス
参加者数：40名
テーマ「ナノマテリアルの労働衛生管理に関する最近の動向」
座長：田中 茂（十文字学園女子大学）
「OECDにおけるナノマテリアルに関する最新の動向」小野真理子（安衛研）
「工業ナノ材料のHealth, Safety and Environmentに関する標準化の動向」武林 亨（慶應大）
「ナノマテリアルに関するリスク評価の取り組みについて」岸本充生（産総研）
 - ・第22回関東産業衛生技術部会研修会
開催日：平成22年2月22日（月）、場所：慶應義塾大学医学部予防講堂
参加者数：60名
テーマ「化学物質のリスク評価について学ぶ」
座長：田中 茂（十文字学園女子大）
「リスク評価対象物質の選定法とその曝露評価の進め方について」名古屋俊士（早大）
「リスク評価物質対象物質の曝露評価の具体的な実施方法」棗田衆一郎（中災防）
「病院における化学物質管理の現状」岩崎 毅（興研労働衛生コンサルタント事務所）
- 4) 東海地方会（担当幹事：城憲秀・中部大）
 - ・東海産業衛生技術部会第1回特別講演会
2009年12月19日（土）午後1時～4時、参加者27名
講演1 村田勝敬先生（秋田大）「ベンチマーク法による臨界濃度評価と利用法」
講演2 中明賢二先生（麻布大）「管理濃度とリスク管理」

- 5) 北陸甲信越地方会（担当幹事：谷井秀治・金沢大）
第83回日本産業衛生学会の開催に伴う運営準備を行った。
- 6) 近畿地方会（担当幹事：河合俊夫・中災防大阪労働衛生総合センター）
2009年8月1日に学校安全衛生に関する講演会（講師：岸（北大）、鬼頭（元文部省））を開催した（参加者55名）。
- 7) 中国地方会（担当幹事：田口豊郁・川崎医療福祉大）および
四国地方会（担当幹事：須那滋・香川大）
・中国四国産業衛生技術部会合同研修会
2009年11月21日(土)14:00～17:00 ホテル千秋閣(自治会館)7階、第53回中国四国合同産業衛生学会(徳島)中に開催。
講演(1)「日亜化学工業に於ける安全衛生管理について」(貞本秀昭：日亜化学工業株式会社 安全本部安全室室長)
講演(2)「徳島県内の労働災害、職業性疾病発生状況について」(渡邊優：徳島労働局労働基準部安全衛生課長)
講演(3)「OHSAS18001のリスクアセスメントにおける作業環境測定の意義」(藤田孝一：ハリソン東芝ライティング株式会社生産統括部環境推進部)
(司会：鈴木泰夫:徳島産業保健推進センター)
- 8) 九州地方会（担当幹事：伊藤昭好・産業医科大）
・九州地方会自由集会
平成21年6月27日（土）17～18時、場所：沖縄産業支援センター 308号会議室
講演「労働災害防止計画に沿った今年度の安全衛生対策と化学物質対策の重点事項」
講師：五十嵐晃一氏（労働安全衛生技術研究会 専務理事）
参加者 約10名

平成21年度特別会計収支計算書

平成21年 3月 1日から平成22年 2月28日まで

地方会・部会・委員会名

産業衛生技術部会

1. 収入の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1)会費収入	0	0	0	
正会員会費収入	0	0	0	
賛助会員会費収入	0	0	0	
特別会員会費収入	0	0	0	
			0	
(2)助成金収入	800,000	800,000	0	
日本産業衛生学会助成金収入	800,000	800,000	0	
			0	
(3)事業収入	0	0	0	
参加登録料収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
原稿料収入	0	0	0	
			0	
(4)その他収入	1,000	1,179	-179	
受取利息	1,000	1,179	-179	
通信費等実費徴収金	0	0	0	
			0	
当期収入合計	801,000	801,179	-179	
前期繰越収支差額	657,366	657,366	0	
収入合計	1,458,366	1,458,545	-179	

2. 支出の部

科目	予算額	決算額	差異	摘要
(1)事業費	560,000	560,000	0	
①機関誌費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
編集費	0	0	0	
発送費	0	0	0	
			0	
②助成金支出	560,000	560,000	0	
学会開催助成金支出			0	
部会助成金支出			0	
委員会費	240,000	240,000	0	
研究会費	320,000	320,000	0	
			0	
③例会事業費	0	0	0	
会場費			0	
諸謝金			0	
資料作成費			0	
通信費			0	
			0	
(2)管理費	260,000	169,367	90,633	
①運営費	90,000	85,056	4,944	
幹事会費	40,000	30,000	10,000	
広報渉外費	0	0	0	
			0	
運営雑費	50,000	55,056	-5,056	
②事務費	170,000	84,311	85,689	
事務局員費	60,000	20,000	40,000	
通信費	80,000	60,630	19,370	
消耗品費	20,000	2,181	17,819	
			0	
雑費	10,000	1,500	8,500	
(3)その他支出	0	0	0	
役員改選積立金支出			0	
学会開催積立金支出			0	
			0	
(4)予備費	638,366	0	638,366	
当期支出合計	1,458,366	729,367	728,999	
当期収支差額	-657,366	71,812	-729,178	
次期繰越収支差額	0	729,178	-729,178	
支出合計	1,458,366	1,458,545	-179	

第18回産業衛生技術部会大会(平成21年12月12日東京)決算書

1. 収入の部

科目	予算	決算	差異	摘要
(1)会費収入	0	0	0	
(2)助成金収入	400,000	400,000	0	
日本産業衛生学会助成金収入	400,000	400,000	0	
(3)その他収入	0	0	0	
参加登録料収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
原稿料収入	0	0	0	
(4)その他収入	0	0	0	
当期収入合計	400,000	400,000	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
収入合計	400,000	400,000	0	

2. 支出の部

科目	予算	決算	差異	摘要
(1)事業費	220,000	208,300	11,700	
①機関誌費	0	0	0	
②助成金支出	0	0	0	
③例会事業費	220,000	208,300	11,700	
会場費	50,000	35,300	14,700	
諸謝金	150,000	150,000	0	¥5万×3名
資料作成費	20,000	20,000	0	
通信費	0	3,000	-3,000	
(2)管理費	120,000	72,007	47,993	
①運営費	65,000	18,902	46,098	
打ち合わせ費	30,000	18,902	11,098	弁当代
広報渉外費	30,000	0	30,000	
運営雑費	5,000	0	5,000	
②事務費	55,000	53,105	1,895	
事務局員費	20,000	50,000	-30,000	アルバイト代
通信費	5,000	3,000	2,000	
消耗品費	20,000	105	19,895	
雑費	10,000	0	10,000	
(3)その他支出	40,000	119,693	-79,693	
役員改選積立金支出	0	0	0	
学会開催積立金支出	40,000	119,693	-79,693	10周年記念大会
(4)予備費	20,000	0	20,000	
当期支出合計	400,000	400,000	0	

日本産業衛生学会産業衛生技術部会 平成22年度活動計画

以下の通り、承認された。

1. 総会の開催

日時：平成22年5月28日（金）17:00～17:30

会場：福井県国際交流会館 2F 第1会議室

2. 幹事会の開催

第1回：平成22年5月26日（木）17:00 - 18:00 福井県国際交流会館 2F 第1会議室

第2回：平成23年1月22日（土）予定

3. 第19回産業衛生技術部会大会の開催

日時・会場：平成23年1月22日（土）午後 早稲田大学西大久保キャンパス構内

テーマ案：産業衛生分野における現在の人間工学の役割

4. 産業衛生技術フォーラムの開催

日時：平成22年5月28日（金）14:30 - 17:00

場所：福井県国際交流会館 2F 第1会議室

テーマ：化学的環境ーリスク管理とリスク軽減ー

座長：中明賢二（麻布大）

1. ホルムアルデヒドを含む化学物質のリスク管理

河合俊夫（中災防・大阪センター）

2. 化学物質と神経障害

松岡雅人（東京女子医大・衛生学公衆衛生学）

3. 化学的環境のリスク軽減

谷井秀治（金沢大）

5. 産業衛生技術専門研修会の開催

・第10回産業衛生技術専門研修会

日時：5月27日（木）15:30 - 17:00

場所：福井県国際交流会館 2F 第3会議室

テーマ：職場における化学物質管理の今後の動向について

講師：名古屋俊士（早大）

・第11回産業衛生技術専門研修会

平成23年1月22日（土）午前を予定

6. 労働衛生工学基礎講座の開催

「作業環境測定に使用できる電気的センサーの現状と展望ー労働衛生基礎講座ー」

日時：平成22年3月1日（月）13:00 - 16:30

会場：東京トラック事業健保会館（東京都千代田区四番町5-7）

7. 各委員会の活動

1) 企画委員会（委員長：村田克・労研）

4回程度の開催を予定

2) 教育研修委員会（委員長：今井常彦・東邦大）

第10回、第11回の産業衛生技術専門研修会を開催

3) 広報委員会（委員長：落合孝則・東工大）
部会ホームページ、メーリングリストの維持管理および部会メールマガジンの刊行

4) 企業安全衛生グループとの交流委員会(委員長:野原誠一郎・日本化学繊維協会)
全国衛生管理者協議会を通じて講師派遣を広報など

5) 表彰委員会（委員長：名古屋俊士・早大）
中明賞（産業衛生技術部会奨励賞）受賞者2名を選定する。

6) 4部会コラボレーティング委員会（委員長：落合孝則・東工大）
4部会合同セミナーなどを他部会と共同で開催

8. 各地方会の活動

各地方会においてその地域の実情に即した活動を行う。

- 1) 北海道地方会（担当幹事：武田秀勝・札幌医科大）
産業医・産業看護・産業技術部会合同研修会（平成23年3月）および、
職場復帰に役立つテーピング講習会（平成22年6月8日）を開催
- 2) 東北地方会 東北地方会（担当幹事：板井一好・岩手医科大）
7月24日に山形市で開催される第69回東北地方会で、部会の講演会を企画している。
部会の会員募集を行っているが、東北地方の地域特性もあり会員の拡充が困難な状況にあるので、引き続き会員の拡充をはかる。
- 3) 関東産業衛生技術部会(担当幹事：田中茂・十文字学園女子大)
第251回例会（11月あるいは12月開催予定）を含めて年3回開催予定とする。
- 4) 東海地方会（担当幹事：城憲秀・中部大）
第2回の特別企画を検討中。産業保健スタッフの研修会を予定している。
- 5) 北陸甲信越地方会（担当幹事：谷井秀治・金沢大）
医部会、看護部会と共同での企画を予定している。
- 6) 近畿地方会（担当幹事：河合俊夫・中災防大阪労働衛生総合センター）
11月に総会と研究会を開催予定。
- 7) 中国地方会（担当幹事：田口豊郁・川崎医療福祉大）および
四国地方会（担当幹事：須那滋・香川大）
中国四国産業衛生技術部会合同研修会(第9回)：第54回中国四国合同産業衛生学会(下
関，2010年11月27日)中に開催予定
- 8) 九州地方会（担当幹事：伊藤昭好・産業医科大）
九州地方会自由集会
 1. 日時：平成22年6月19日（土）16時～17時
 2. 場所：ヒューマンメディア財団ビル2F セミナールーム
 3. 内容：講演「石綿工場からの近隣曝露による住民の健康影響」
講師：熊谷信二先生（産業医科大学産業保健学部環境マネジメント学科）
※秋期にも集会の開催を検討中です。

9. その他

- ・会員数が少ない現状から、もっと他部会へのアピールを増やすべき

平成22年度産業衛生技術部会予算書(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

1. 収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
(1)会費収入	0	0	0	
正会員会費収入	0	0	0	
賛助会員会費収入	0	0	0	
特別会員会費収入	0	0	0	
(2)助成金収入	800,000	800,000	0	
日本産業衛生学会助成金収入	800,000	800,000	0	
(3)その他収入	0	0	0	
参加登録料収入	0	0	0	
広告料収入	0	0	0	
原稿料収入	0	0	0	
(4)その他収入	1,000	1,000	0	
受取利息	1,000	1,000	0	
通信費等実費徴収金	0	0	0	
当期収入合計	801,000	801,000	0	
前期繰越収支差額	729,178	657,366	71,812	
収入合計	1,530,178	1,458,366	71,812	

2. 支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	摘要
(1)事業費	560,000	560,000	0	
①機関誌費	0	0	0	
印刷費	0	0	0	
編集費	0	0	0	
発送費	0	0	0	
②助成金支出	560,000	560,000	0	
委員会費	240,000	240,000	0	6委員会
研究会支出	320,000	320,000	0	8地方会分(中国四国は合同)
③例会事業費	0	0	0	
会場費	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	
資料作成費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
(2)管理費	200,000	260,000	-60,000	
①運営費	90,000	90,000	0	
幹事会費	40,000	40,000	0	
広報渉外費	0	0	0	
運営雑費	50,000	50,000	0	講師等派遣補助
②事務費	110,000	170,000	-60,000	
事務局員費	60,000	60,000	0	
通信費	20,000	80,000	-60,000	
消耗品費	20,000	20,000	0	
雑費	10,000	10,000	0	
(3)その他支出	0	0	0	
役員改選積立金支出	0	0	0	
学会開催積立金支出	0	0	0	
(4)予備費	770,178	638,366	131,812	
当期支出合計	1,530,178	1,458,366	71,812	
当期収支差額	-729,178	-657,366	-71,812	
次期繰越収支差額	0	0	0	
支出合計	1,530,178	1,458,366	71,812	